

topics



12/1・2 「わくわーく」掲載商品が買える! 「第35回 調布市福祉まつり2012」

12月1日(土)・2日(日)に市役所の前庭とたづくりの東側で、年末恒例の福祉まつりがにぎやかに開催されます。1日は、福祉施設、福祉作業所など福祉関連団体を中心に手作りのお菓子や雑貨の販売や模擬店が出店。調布市福祉作業所等連絡会からも22事業所が参加する予定です。2日は、市内の企業やボランティア団体などを中心に模擬店が出店。両日ともスタンブラリーや特設ステージでの歌・演奏・踊りなどのパフォーマンスなど盛りだくさん。総合福祉会館内では、市内の小学校で人気が高まりつつある「ドッチビー体験コーナー」が行われます。ぜひ来場を。各日とも9:30開始、14:30終了です。

問 調布市社会福祉協議会 ☎ 042-481-7693

「深大寺だるまかりんと」 福祉作業所が作る新名物

市内福祉作業所のはじめての連携商品「深大寺だるまかりんと」が8月に誕生。調布の新名物として、予想以上の売れ行きを見せています。この商品は、地域資源を活用して新しい地域貢献事業の創出を目指す、市内の「MNH」という会社が企画。東京でも数少ない老舗かりんとメーカーが製造。フレーバーを決めるペーストづくりは「しごと場大好き」、巻き紙の印刷は「めじろ作業所」、包装は「ポビーの家」と「やわらぎの家」、在庫管理と出荷作業は「わかば第一事業所」と、市内の5つの福祉作業所が分担して作業を行っています。味はカボチャ、練乳、黒糖味の3種類、1袋300円。市役所や調布市観光案内所「めくもりステーション」、深大寺周辺のそば店などで販売されています。

問 MNH ☎ 042-443-1351



present

「わくわーく」ギフトカードを10人に。掲載商品購入やカフェで使えます

本誌で紹介しているカフェ利用やスイーツの購入に使える1000円分の「わくわーくギフトカード」を抽選で10人にプレゼント。希望者は、はがきに①氏名②〒住所③「わくわーく」への感想やリクエスト④「わくわーく」の入手方法を明記してご応募ください。■応募先 〒182-0024 調布市布田2-26-8、フラットカズ101 調布市福祉作業所等連絡会「わくわーくプレゼント」係 ■締め切り 11月30日(金)必着 ■問い合わせ ☎042-481-3201(水・土・日曜休み) ※応募者の個人情報は当選連絡に使用するほか、個人が特定されない形で集計し、今後の事業の参考にいたします。許可なく第三者に公開・提供することはありません。当選発表は、当選者への通知をもって代えます



作業所 file ⑩

卒業してもたすけあえる友人関係を

NPO法人ポコポコ・ホッピング

<ポコポコ・ホッピング神代団地/ポコポコ・ホッピング富士見町>



アクセス ■ 神代団地は、つづじヶ丘駅から徒歩16分、富士見町は武蔵境通り御塔坂交差点近く

1990年、3組の母子と一緒に体を動かそうと体操教室をはじめたのがきっかけ。子どもたちの放課後を豊かなものに、友達関係を築いて、将来たすけあって生きていけるようにと継続してきた。2006年にNPO法人格を取得。2011年に成人の部は、他の作業所と合併して「ひいす」に移籍。2012年から児童福祉法に則った放課後等デイサービスに移行した。神代団地内にある施設には中庭があり、夏は水遊びなどができる。利用者が多くなったため、富士見町のあいだショッピングセンター向かいにもうひとつ施設を新設した。どちらも野川に近いので、屋外活動で利用することが多い。◆神代団地 調布市西つづじヶ丘4-23、神代団地33-103 ☎ 042-483-1114 ◆富士見町 調布市富士見町3-25-1、1階1号室 ☎ 042-486-5922 (児童福祉法 放課後等デイサービス)

作業所 file ⑪

田園に囲まれた自然環境で児童の療育に取り組む

NPO法人 ふみ月の会

<ふみ月の会>



アクセス ■ 調布駅・布田駅から徒歩15分。調布駅南口より京王バス「多摩川住宅西」行、ライオンズマンションバス停下車徒歩5分

障がいを持つ子どもの保護者有志と、療育の専門知識を持つ指導者によって1982年に設立されたNPO法人。小学生から高校生までの子どもたちのための放課後等デイサービスを実施。保護者のリフレッシュや就労支援にもなるように取り組んでいる。緑に囲まれた環境。居場所というよりは、発達に合った「自立」のための療育に力を注ぐ。集中力・持続力を身に付ける、対人関係を改善する、日常生活に支障のある執着心をやわらげ、柔軟性を持たせるなど、手厚い個別指導が特長。第2・4土曜日は、多くのボランティアの協力で、パン作り、親子まつり、運動会、クリスマス会、陶芸、味覚狩り、ハイキングなどさまざまなプログラムを計画。長期休暇は宿泊訓練も。◆調布市染地1-17-15 ☎ 042-486-9901 (児童福祉法 放課後等デイサービス)

life style



学校でも家でもない、自由な居場所で子は育つ
発達に遅れやかたよりのある子どもたち。市立の特別支援学級や通級指導学級、都立特別支援学校などの制度が整い、手厚い家族や親戚の支えがあります。調布市子ども発達支援センターが整備され、早期発見・支援と療育が重要な観点から、保護者に対する知識提供、相談機能を備え、有効に機能しています。
それでも、「私がいなくなったらこの子はどうなるのか」という保護者の最大の不安が払拭されることはありません。ひとりの子どもが、将来の自立につながる社会性を身につけることは、こうした公共の事業以外に、さまざまな人のかかわりをいかに増やすかにかかっています。発達の遅れやかたよりにかかわらず、すべての人に必要な社会教育の場が必要で、

障がいのある子どもと家族だけで公共の場にかけるのは、正直しんどいときもある。でも「この子たちの将来のため」と仲間意識で取り組めば、支援するほうもその場を楽しむ余裕が出る



クレヨンキッズ ☎ 042-490-3933
にこにこキッズルーム ☎ 042-499-5660
ふみ月の会 ☎ 042-486-9901
ポコポコホッピング神代団地 ☎ 042-483-1114
ポコポコホッピング富士見町 ☎ 042-486-5922
ゆうゆうくらぶ ☎ 042-499-8956
れいんぼー ☎ 042-499-6777

作業所 file ⑨

とにかく元気外遊び。地域交流で存在を身近に感じてほしい

NPO法人 にこにこの会 <にこにこキッズルーム>



アクセス ■ 西調布駅北口から徒歩5分。旧甲州街道に向かい、西調布駅入り口交差点を右。その先の二股を左に進み道路の左側。甲州街道に出る少し手前

1990年障がいを持つ成人を対象に余暇活動を楽しむ場として設立。2009年学齢期の障がい児の保護者たちが放課後の居場所としての運営に移行。屋外で元気いっぱい体を動かしてほしいと近所の公園や川にでかけるのが日課になっている。2012年、児童福祉法上の放課後等デイサービスに移行。大きなガラス窓から日が差す広いスペースを借りることができた。近所の人が在を知ってもらう活動にも積極的。さまざまな活動や遊びを通して、子どもたちの意欲や興味・関心を広げる支援を心がけている。家族のレスパイト(心身の休息)や就労支援にも積極的。◆調布市下石原1-2-4、ヤマビル2階 ☎ 042-499-5660 (児童福祉法 放課後等デイサービス)

作業所 file ⑧

「楽しい」をだいじにする子どもたちの生活の場

NPO法人 なないろの会

<クレヨンキッズ/れいんぼー>



アクセス ■ クレヨンキッズは、布田駅から徒歩5分。甲州街道沿いの東京電力となり。れいんぼーは、京王多摩川駅から徒歩11分

1996年に養護学校の3人の母がボランティア2人と自主保育をしたのが「クレヨンキッズ」のはじまり。小学生の居心地のよい場所でありたいと、「～したい」「ヤダ」という気持ちを大切にしている。スタッフも仲間として一緒に、おやつ調理、買い物等を経験し、「楽しい」なかで社会のルールがみにつくようにサポートしている。地域の小学生とも公園仲間になっている。2005年にスタートした「れいんぼー」は現在は調布市多摩川にある、中高生の居場所。思春期の混乱に寄り添いながら、縦割り活動を取り入れ、自立へと育つプログラムを工夫している。◆クレヨンキッズ 調布市布田2-4-10、布田ビル1階 ☎ 042-490-3933 ◆れいんぼー 調布市多摩川1-28-1 ☎ 042-499-6777 (児童福祉法 放課後等デイサービス)